

お互いが支え合い助け合う

地域活動支援センターながみね

みんなのおうち

二月十七日(日)に「みんなのおうち」がオープンしました。この施設は、地域で生活している障がいを持つ方が利用できる通所施設です。ここでは、就労体験や日中の居場所・生きがいづくりを提供し、障がいを持つ方が地域社会と交流を図れる場を作っています。

所長の齋藤香織さん(左)と「みんなのおうち」施設責任者仲島友紀子さん(右)にお話を伺いました。



●「みんなのおうち」は障がいを持つ方は、高校卒業までは特別支援学校などの施設を利用できますが、卒業後は受け入れてくれる施設・企業を探るのが難しい現状です。特に働く場所がないとの理由から矢板を離れていく方が多くいます。そのため、障がいを持つ方の居場所づくりと、さらに

【カフェ花りんご】

就労・就労体験ができる場所を作りました。お店でのランチやコーヒーはもちろん、数量限定の特別なお弁当なども用意しています。また、地域の食材を取り入れて、仕出し弁当の注文も受けています。

障がいを持つ方が接客などのお手伝いをしながら営業をしています。間違えることや失敗することもあります。温かい心で見守っていただければと思います。

またここは日中の居場所としても利用していただけます。

《営業時間》

月曜日～金曜日

十一時三十分～十五時

【みんなの食堂】

一人で夕食を食べたい人もここでなら多くの人と一緒に食べながら楽しいひと時を過ごせます。

毎週金曜日
十七時～二十時



【販売】

野菜や小物の委託販売をしています。

【レンタルスペース】

趣味の集い、パーティーなど、どのようなことにも利用できます。

※利用については、お気軽にご相談ください。

●私たちの目指す「みんなのおうち」とは

「みんなのおうち」は、誰もが利用できる施設です。しかし、建物には段差があり、使いにくい所もあります。これらすべてを使いやすくするために、それを利用する

障がいを持つ人も考え、工夫し、不向きの中でも生活しています。その姿を地域の方たちが肌で感じ、障がい者への理解につなげてもらう場所としたいです。

大人から子どもまで、人は少なからず何かを抱えて生きていると思います。そこには障がいのあるなしは関係ありません。

利用するみんなが、居心地の良い、互いが必要となるそんな場所を目指しています。

●今後の計画

障がいを持つ方が作った作品の展示販売と道の駅や直売所に出せない規格外の野菜・果物などを店内で販売したいと思っています。

(記者の感想)

お店で食べられるお弁当は、一日限定五食なので電話予約しておくといいですよ。みそ汁がすごくおいしかった。また行きたいな。(K・H)

みんなのおうち



●問い合わせ

みんなのおうち
住所: 末広町七一
電話: (四八) 七八八〇